

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年2月8日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873100648		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム たんぽぽ	ユニット名	東館
所在地	〒319-0101 茨城県小美玉市橋場美20-1		
自己評価作成日	平成21年8月28日	評価結果 市町村受理日	平成22年2月2日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年10月28日	評価確定日	平成22年1月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

毎日 食べる食事が美味しいと 入居者から評判です

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

地域密着型サービスの意義と役割を踏まえた理念に作り変え、職員一丸となって実現に努めている。 管理者は利用者本位のサービスの提供を第一に考え、職員は利用者を人生の先輩として尊敬し相談相手になってもらうなど、互いに寄り添い支え合う関係を築いている。 運営母体が医療法人で医療連携体制が整っているほか、同一法人の福祉施設4ヶ所が隣接し協力関係が築かれ、利用者や家族等の安心につながっている。
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	独自の理念を掲げ生活支援と個人支援を念頭に実践につなげている	「地域との交流を大切に、家庭的な雰囲気の中で入居者一人ひとりの個別性を尊重し、安らぎのある日常生活を過ごせるよう支援します」との理念を作成し、玄関や事務室に掲示している。 管理者や職員は朝礼や職員会議などで理念を確認し、共有して実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ボランティアを積極的に受け入れたり散歩中に地域の人への声かけ他の施設の行事に参加している	散歩時に地域の人々に挨拶や声をかけたり、地域の人々がホームに立ち寄るなど、利用者は地域の人々と日常的に交流している。 オカリナや浪曲などのボランティアや福祉専門学校の実習生を受け入れているほか、隣接している同一法人の福祉施設が開催する納涼祭やホームのクリスマス会などの行事を通して地域の人々と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者への日常支援を第一に考えミーティングやケア会議の時には必ず話題にし意識を高めるように全職員が理解できるよう取り組んでいる		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は市職員、民生員、地域住民、ケアマネ、入居家族等の構成で2ヶ月に1回開催し 実情や問題点を話し合い又行政よりの新しい情報を得るなどサービスの質の向上に活かしている	運営推進会議は家族等や民生委員、市職員、ホーム職員で2ヶ月に1回開催している。 会議ではホームの状況報告や意見交換をするほか、利用者と同じ食事を摂りながら会議を進めるなどで、ホームへの理解を深めてもらえるよう工夫している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議、認定調査を通じて又包括支援センター等との関わりを大切にしコミュニケーションを図るように努めています	市担当者が来訪し利用者とは話するほか、市主催の福祉まつりにホームの資料を提供するなど、日常的に訪問し協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ユニット毎に職員がきめ細かい注意深く拘束ゼロに取り組んでいます	契約書に明文化されている利用者の権利に、身体拘束を受けない権利が記載されているほか、管理者や職員は身体拘束の内容とその弊害を正しく理解し、玄関の施錠を含め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	関連施設やGH会議には話し合う機会を設け ホーム内でも見過ごされないように防止に努めています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の必要性を関係者と話し合い利用者の人権を脅かさないう日々の介護に活かし支援しています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時 重要事項説明書で理解をいただけるよう 十分説明を行い理解納得を図っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情や意見箱の設置をもうけ説明書に明記している 職員全員で十分に話し合う機会を設け運営に反映させている	利用者からは日常のふれ合いの中から、家族等からは電話や面会時などで意見や要望を聴き、出た意見等を運営やサービスの質の向上に活かしている。 玄関に意見箱を設置しているが投函実績はない。 重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに玄関に掲示している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎朝の朝礼の折職員の意見や提案を聞く機会設け申し送りノートに記録し運営に反映させている	管理者は職員が意見や提案を気兼ねなく言える関係を築き、出た意見等を運営やサービスの質の向上に活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	運営母体である法人で月1回の定例会を実施し意見や要望などの話し合う機会を設け職員処遇への反映や向上心を持って働けるような配賦 対応に努めています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時は2ヶ月間を重点的に施設内で指導してから採用を決定し研修にも参加している又日常的に学ぶ機会もつくってる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	施設内研修、や勉強会を行うとともに事例検討を通して介護技術サービスの質の向上に取り組んでいます		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居相談時から信頼関係を築いていけるように本人と面接を行い不安を取り除く様努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族とは十分に話し合いを行い不安や要望など家族の思いをよく理解しコミュニケーションを図っています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを開始する段階で本人家族の必要としているサービスにお答えできるよう、又他のサービス内容も念頭に入れ対応しています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	安心で安全に楽しく暮らすためにはどのようにしたら良いか出来ることは自分でしていただき又利用者に教わり支えられている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	四季折々お手紙で生活の様子や写真を送ったり近況の報告をし常に安心していただけよう配慮して共に支えていく関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	一人ひとりがその人らしく暮らせるよう自由にのびのびとした雰囲気を作り見守りを行い耳を傾け気持ちを受け止めてなじみの人、場所が達切れないよう努めています	職員は利用者の行きつけの理髪店への送迎や馴染みの商店に同行するほか、親戚や友人との手紙や電話のやりとりを支援し、馴染みの関係が継続できるよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共有の場での入居者同志のトラブルには特に注意して見守っている 安心して生活できる環境づくりに取り組んでいる		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病気で入院した方はお見舞いに行き情報交換を行い 退居後もよりよい関係を保ち何でも話せる雰囲気作りに取り組んでいる		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや意向を日々の会話の中で把握するよう努めています 又家族の意向に添った サービスをしているか、常に話し合いを行い検討している	管理者や職員は利用者の生活歴を把握したうえで、日常のふれ合いの中から一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。 職員が希望を聞くと遠慮する利用者が多いが、行事などを企画して反応を見たいと利用者本位の支援に努めている。 意思表示が困難な利用者は職員が話しかけ表情や仕草から意向を感じ取るよう心がけている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人も忘れかけている生活歴や馴染みの暮らし方などを家族との話し合いの中でさぐり日々の生活に信頼関係を築きながら時間をかけて把握するよう努めています	/		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のリズムやその人らしく暮らし方を理解し生活の様子はケース記録に状態は申し送りノートに記録し総合的に把握に努めている	/		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がその人らしく暮らすためにできること出来ないこと本人家族にその要望をきき満足して下さるような現状に即した計画作成に全員で話し合いを行っている	介護計画は利用者や家族等の希望を取り入れ3ヶ月から6ヶ月ごとに見直すほか、利用者の心身状態に変化が生じた場合はその都度見直し、家族等の同意を得るとともに全職員が共有して支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録用紙やケース記録に生活の様子や食事量、排泄など記録している申し送りノートら業務日誌などで情報を共有し実践や計画の見守りに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	母体の法人である病院の看護師との医療連携や主治医の回診、外来受診その時々ニーズに対応してなじんだ環境の中で最後まで過ごせるような支援をしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議などで日頃より連携を取れるよう働きかけたりボランティアの受け入れを行っている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の周1回の受診ある病院受診は月2～3回検査受診している病状変化や急変に対応し安心して生活ができる体制になっている	同一法人の病院と医療連携を図り1週間に1度の通院を支援するほか、通院できない利用者には1週間に1度の訪問診療を支援している。利用者や家族等の希望にそって眼科への通院や歯科医の訪問診療を支援するとともに、受診結果はその都度家族等に電話で報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	周1回の受診や関連病院の看護師との健康管理や相談を行っている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院した際はいつでも面会に来られるようにし、なじみの関係を継続できる、病状の交換や説明やアドバイスを受け混乱なく過ごせるような体制をそなえている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化や終末期は医療に連携が随時できる又家族と密に情報交換を行いこのホームはこのような協力が出来ることを十分説明しながら支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期の方針を契約時に利用者や家族等に説明しているが、明文化するまでには至っていない。	重度化や終末期に向けた方針を関係者で再度協議し、共有することを期待する。 決定した方針は明文化するとともに利用者や家族等に説明することが望まれる。
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時マニュアルにそつて実行している職員全員で演習を行い実践力を身につけている (急変時は何度も実行している)		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	関連施設とはいつも交流を行っている訓練にも参加していますが、消防や警察への協力も依頼している (11月末避難訓練予定している)	年2回昼間や夜間を想定した避難訓練を実施し記録している。 乾パンや飲料水、毛布などを備蓄するとともに、災害時は隣接している同一法人の福祉施設から応援を受けられる体制を築いている。 災害時の一時避難場所として隣地の畑を利用できるなど、地域住民の協力を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	命令口調にならない言葉かけを心がけ職員間で確認している 毎日のミーティングや申し送り時にも話し合っている	個別性の尊重を理念に掲げ、利用者の誇りやプライドを傷つけないよう配慮し支援をしている。 職員は利用者を昔の風習や生活の知恵などを教えてもらえる存在として捉え、共に過ごし支え合う関係を築いている。 個人ファイルは事務室の鍵のかかる書庫に保管し、情報の漏洩に留意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の持っている力を引き出させるよ自立支援を心掛けている本人が自己決定できる場面をつくっている (洗濯たたみ身の回りのことなど)			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れは決つてはいるが その人の状態やペースに合わせて柔軟なケアを心掛け支援している			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の希望を取り入れた理美容の支援をしている又衣服や化粧品の買い物も支援している			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事はすべて このホームで作っています 衛生上厨房には入れませんが 後かたづけやテーブルふき等できるように支援しています	花見をしながらの外出や節句、クリスマス会などの行事にちなんだ食事やおやつを提供し、食事が楽しみになるよう支援している。 家族等や職員から自家栽培した食材の差し入れが多く、それらを利用した料理も利用者の楽しみとなっている。 利用者は職員と共にできる範囲で食事の下準備や配膳、下膳などを担っている。 職員は食事の介助をしながら和やかに会話し、利用者と同じテーブルを囲んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が献立をきちんとカロリー計算などバランスの良い野菜が主体の食事作りを支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き（義歯なので）ポリデント使用うがいを見守りや声掛けをして必ず行う様に支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを職員全員が把握している トイレでの排泄が出来るよう支援している（布のおむつの方は随時交換）	利用開始時におむつ使用であった利用者でも職員は生活リズムや排泄パターンを観察し徐々におむつを減らすなど、排泄の自立に向けて支援している。 夜間はポータブルトイレを使用したり、職員がトイレへの誘導でおむつを使用しない支援に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	身体を動かす機会を多くつくり便通の良い食物繊維の多く含む乳製品や野菜食を多く取り入れている（水分補給もかかせない）		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回入浴を実施している 夏などあせの多く出る時期には 即時シャワー浴を支援している（西館機械浴を支援している）	ユニットごとに曜日を変え週2回入浴日を設けているほか、状況に応じていつでもシャワー浴ができるよう支援している。 菖蒲湯や柚子湯、疥癬や湿疹に効く入浴剤を使用するなど、利用者が入浴を楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夏の間はできませんができるだけ散歩や廊下での歩行訓練を実施し1日のリズムを整え安眠ができるように努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の処方箋をファイルしており職員全員が内容を共有している 服薬時には、口の中に入れるなど確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりのできること できないことすべて表にまとめてある できなかったことができるようになった時のよこびを味はついただける 入居者 職員全員でお祝いをしている その時は大好きな食べ物を用意する支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の状況や状態天候に応じて花木センターや お買物などを支援している 近隣へ散歩の時などは近くのお宅にも寄せていただく支援もしている	天気の良い日は田植えや稲刈りなどを眺めながらホーム周辺を散歩するほか、近隣の知人宅に立ち寄ってお茶飲みをするなど地域との交流も図っている。 リフト車を活用して近隣の公園や植物園に出かけるなど、利用者の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者が自ら支払いをすることは限りがある 事務所の専任者が金銭を管理している 必要な時は家族合意のもと買い物などを行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎは多くしている又年賀状や手紙のやり取りも支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関の鍵は一切かけてない廊下には両方に手すりを設置して 歩行訓練には最適である トイレは車いす使用可能カーテンで仕切るなど利用者に配慮した設備である又共同空間は明るく外には花や野菜が見えるような工夫をしている	リビングと食堂は一続きで南側と東側の二面はガラス戸を配し、明るく広々とした空間となっているほか、ベランダを設置し気軽に日光浴ができる工夫をしている。 壁面は利用者が制作した塗り絵や習字、ジグソーパズルなどが飾られているほか四季の花が生けられ、家庭的な雰囲気醸し出している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関外には椅子が置いてあり食堂とホールが対なっている自由な交流になるよう見守っている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	いつも整理整頓されている低床の介護用ベット、チェスト洗面台は温水もでる 家族の写真やなじみの品を持ち込める心地よい居室である 楽しく過ごせるよう支援している	居室は鏡付の洗面台が設置され、利用者は自分で身なりを整えたり、職員が介助をしている。 利用者や家族等と相談しながら仏壇や位牌、家族等の写真、手作りの飾り物など馴染みの物品を持ち込んでもらうほか、生花が飾られ居心地良く暮らせる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その人残存能力を支援する 介護を実施している 手や口を極力ださず見守り又一緒に行なうようにしている		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	<p>○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	<p>○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	<p>○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームたんぽぽ

作成日 平成22年2月2日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期に向けた方針を関係者で再度協議し、共有することを期待する。決定した方針は名文化するとともに利用者や家族等に説明することが望まれる。	関連の病院で対応予定	美野里病院にて対応します 今まで見たいに入居時に家族に説明し文章に残します。	2月末日
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。